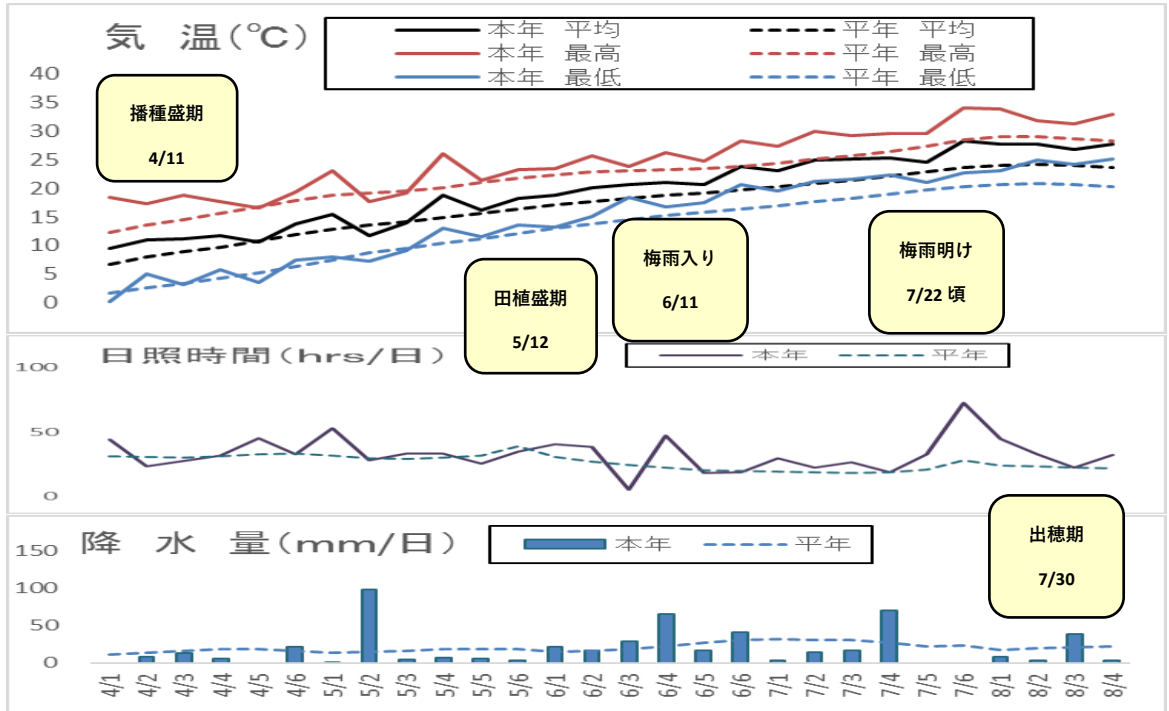


～刈取適期は大幅に早まる見込み！ 早めの収穫準備を～

1 令和5年の気象(古川アメダス)



◆8/17 発表 東北地方の1か月予報(8/19～9/18までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わる。平年と同様に曇りや雨の日が多い。
- ・向こう1か月の気温は、高い確率80%，平年並み若しくは低い確率10%。
- ・降水量は、平年並みの確率40%，多い若しくは少ない確率30%。
- ・日照時間は、平年並みの確率40%，多い若しくは少ない確率30%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 08/19～09/18	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		1週目 08/19～08/25	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		2週目 08/26～09/01	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		3～4週目 09/02～09/15	20 (低い) 30 (平年並) 50 (高い)
降水量	東北日本海側	向こう1か月 08/19～09/18	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
	東北太平洋側	向こう1か月 08/19～09/18	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)
日照時間	東北日本海側	向こう1か月 08/19～09/18	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)
	東北太平洋側	向こう1か月 08/19～09/18	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2 出穂状況及び収穫までの水管理

- ・県全体の出穂始期は7月26日、出穂期は7月30日で、ともに平年より3日早い。穂揃期は8月5日で平年より5日早い。高温の影響で、早まったものと思われる。

出穂状況(県全体)

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月26日	7月30日	8月5日
前年	7月29日	8月3日	8月12日
平年	7月29日	8月2日	8月10日
平年差	3日早い	3日早い	5日早い

出穂状況(地区別)

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
大河原	7月23日	7月28日	8月6日
仙台	7月24日	7月28日	8月3日
大崎	7月26日	7月29日	8月4日
栗原	7月27日	7月30日	8月6日
登米	7月28日	7月30日	8月4日
石巻	7月26日	7月30日	8月5日
気仙沼	7月28日	8月1日	8月9日

- ・早期落水は登熟不良や品質低下の原因となることから、落水時期は出穂後30日以降を目安とする。

3 刈取適期の判定

(1) 出穂日からみた刈取適期の目安

- ・出穂後の積算平均気温による刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」で940~1,100℃である。下表の網掛け部分を目安に、適期刈取を行う。
- ・なお、出穂期(平坦地)は各地区の「平均出穂期」として計算しているため、注意する。

アメダス地点	丸森	白石	亘理	仙台	大衡	古川	鹿島台	築館	米山	気仙沼	石巻	
出穂期(平坦地)	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月29日	7月29日	7月30日	7月30日	8月1日	7月30日	
刈取適期	曜日	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	積算気温	
9月1日	金	916.2	909.6	905.9	944.3	906.9	883.0	887.1	850.2	865.6	767.8	860.2
9月2日	土	938.8	931.9	928.7	967.6	929.1	905.4	909.4	872.4	888.1	789.7	882.9
9月3日	日	961.3	954.1	951.4	990.8	951.2	927.7	931.6	894.5	910.5	811.5	905.5
9月4日	月	983.7	976.2	974.0	1,013.9	973.2	949.9	953.7	916.5	932.8	833.2	928.0
9月5日	火	1,006.0	998.2	996.5	1,036.9	995.1	971.9	975.7	938.4	954.9	854.7	950.4
9月6日	水	1,028.2	1,020.1	1,018.8	1,059.8	1,016.9	993.8	997.6	960.2	976.9	876.1	972.7
9月7日	木	1,050.2	1,041.8	1,041.0	1,082.6	1,038.5	1,015.6	1,019.3	981.8	998.8	897.4	994.9
9月8日	金	1,072.1	1,063.4	1,063.1	1,105.2	1,060.0	1,037.2	1,040.9	1,003.2	1,020.5	918.5	1,016.9
9月9日	土	1,093.8	1,084.8	1,085.0	1,127.7	1,081.3	1,058.6	1,062.3	1,024.5	1,042.0	939.5	1,038.8
9月10日	日	1,115.3	1,106.0	1,106.7	1,150.0	1,102.4	1,079.8	1,083.5	1,045.6	1,063.3	960.3	1,060.5
9月11日	月	1,136.6	1,127.0	1,128.3	1,172.1	1,123.3	1,100.8	1,104.5	1,066.5	1,084.5	980.9	1,082.0
9月12日	火	1,157.7	1,147.9	1,149.7	1,194.0	1,144.0	1,121.6	1,125.3	1,087.2	1,105.5	1,001.4	1,103.4
9月13日	水	1,178.6	1,168.6	1,170.9	1,215.7	1,164.5	1,142.2	1,145.9	1,107.7	1,126.2	1,021.7	1,124.6
9月14日	木	1,199.3	1,189.1	1,191.9	1,237.3	1,184.8	1,162.6	1,166.3	1,128.0	1,146.7	1,041.8	1,145.6
9月15日	金	1,219.8	1,209.4	1,212.7	1,258.7	1,204.9	1,182.8	1,186.5	1,148.0	1,167.0	1,061.7	1,166.4
9月16日	土	1,240.1	1,229.4	1,233.3	1,279.9	1,224.7	1,202.8	1,206.5	1,167.8	1,187.1	1,081.4	1,187.0
9月17日	日	1,260.1	1,249.2	1,253.7	1,300.8	1,244.3	1,222.5	1,226.2	1,187.4	1,206.9	1,100.9	1,207.4
9月18日	月	1,279.9	1,268.8	1,273.9	1,321.5	1,263.7	1,242.0	1,245.7	1,206.7	1,226.5	1,120.2	1,227.5

注1) 「ひとめぼれ」の刈取早限は940℃程度、刈取適期は1,000℃程度、刈取晚限は1,100℃程度とされている。

注2) 気温の積算値は、8月20日までは各アメダス地点の実測値、21日以降は平年値を用いた。

- ・品種別の刈取適期の目安については、下表を参照する。

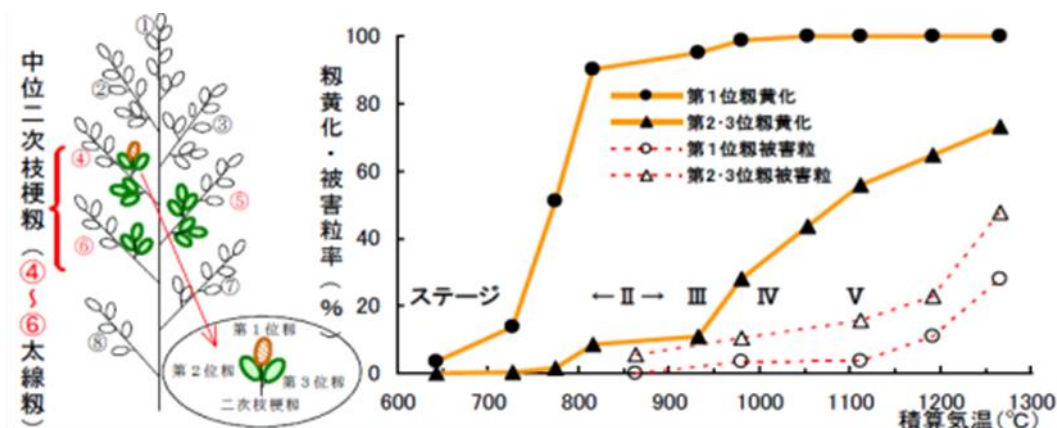
品種名	出穂後の積算平均気温	出穂後の日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日
ササニシキ	930～1,150℃	45～50日
だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
つや姫	1,000～1,200℃	50～55日
まなむすめ	960～1,050℃	45～50日
みやこがねもち	950～1,150℃	45～50日

(2) 籾の熟色によるコンバイン収穫期の予測・判定

- ・ひとめぼれについては、「籾の熟色」から刈取適期を判断することができる。標準的な穂には下図(左)のように8本程度の一次枝梗が付くが、**中位(④～⑥)の二次枝梗の第1位籾がほとんど(95%)黄化した時が「刈取り早限(積算平均気温で940℃程度)」に相当する。**
- ・①の方法は、水稻の生育量や㎡当たり籾数、登熟期間の気象経過によってやや変動する。籾数が少ないと刈取適期が早まる傾向にある。
- ・積算平均気温での判断が難しいときは、ほ場ごとに籾の熟色を観察して刈取適期を判定する。

成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2,3位籾が黄化開始(刈取り早限)
 成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2,3位籾が30%黄化(積算気温1000℃程度)
 成熟段階Ⅴ：第2,3位籾が50%以上黄化(刈取り晩限)

} 刈取適期



- ・「だて正夢」は、ひとめぼれと比較して出穂期で2日程度、成熟期で4日程度遅い。収穫が早すぎる場合や遅すぎる場合には、玄米タンパク含有率が高まる傾向があるので、適期に収穫する。
- ・「金のいぶき」は、ひとめぼれと比較して出穂期で4～5日程度、成熟期で10～17日程度遅い。ひとめぼれより穂発芽しやすいので、積算気温を目安にして早めに刈り取る。

(3) 収穫作業

- ・高水分籾を収穫すると損傷が多くなるため、籾水分25%以下を目安に刈取りを行う。
- ・倒伏した部分は、刈り分けを行い、石などの異物が混入しないように注意する。

(4) 乾燥・調製作業

- ・水分測定の際は、測定サンプルに未熟粒が混じらないように注意する。また、こまめに水分測定を行い、過乾燥を防止する。仕上がり水分は14.5%から15.0%とする。
- ・今年はお穂後に高温が続いており、胴割粒の発生が懸念されることから、二段乾燥に努める。